



鶴川第二中学校

6月「ふれあい月間」特別号  
令和8年6月29日  
TEL042-734-4343

# 鶴二中だより

6月は「ふれあい月間」です。「いじめを防ぐ・いじめに気付く・いじめから守る」の取組を進めています。本校でも、生徒には、学校のみんが安心して過ごせるように、朝礼においていじめを防ぐための話をしました。生徒に向けて話をしたものを掲載いたします。

## 「正義が通る学校」

小島 千恵

今日は、皆さんと一緒に、いじめの問題について少し変わった視点から考えてみたいと思います。集団の中でネズミがどのような行動をとるのかを話しましょう。

実験用のネズミを飼育するときは、飼育用の透明なゲージに、6匹程度を一緒に入れて飼育します。するとその中で、一番強いネズミが一番弱いネズミを徹底的にいじめるのです。あまりにもかわいそうだから、いじめるネズミをゲージから取り出して集団から隔離します。すると、残ったネズミの中で二番目に強いネズミが一番弱いネズミをいじめるようになります。もう一度、いじめるネズミを別の場所に移しても、今度は三番目が……。試しに、いじめられているネズミの方を別な場所に避難させてみると、残ったネズミの中で次に弱いネズミが、代わりにいじめられるのです。ネズミには、誰が強いのか順番をはっきりさせたいという本能が働くのでしょうか。

私達人間は、ネズミと同じ哺乳類で祖先は同じです。だから、ネズミと同じような行動をすることもたくさんあります。人間だって、順番をつけたがる傾向があります。ということは、人間も何も考えないで行動していれば、他者をいじめるような行為をするかもしれない。そんな弱い心が隠されているのかもしれない、いや、きっと誰の中にも弱い心はあるのです。

だからこそ、私達は「自分はそんな心なんかには負けない」「自分はいじめなど絶対にしない」と決心して、常にいじめを無くす努力をしなければなりません。そのためには、「自分はいじめをするような人間ではない」という人間としてのプライドをもつことが大切です。いじめをなくすために必要なのは、「自分はいじめをするような人間ではない」という、私達一人一人の人間としての自信と誇りなのかもしれません。

鶴川二中では、いじめを許さないという気持ちを育むことを様々な活動を通して行っています。私達の学校が、いじめなどない「正義の通る学校」であり続けるために皆さんにお願いです。いついかなる場面であっても、いじめを許さない人間としてのプライドを忘れない中学生であってください。

それからもうひとつ。自分や他人がもっている性質や能力、特徴を人と違う「ダメなもの」と決めつけたり、からかいの対象にしたりしないでほしいのです。それは、将来輝く宝石の原石かもしれないのです。そして、自分もっている原石に気づき、磨いて光らせることは、皆さんの将来を明るくすることにつながるのです。自分を大切に、他人も大切にすること、これができる皆さんであると信じています。人を傷つけることは絶対にあってはなりません。もう一度自分の心に向けて確かめてください。



## 鶴二中生がんばっています 《敬称略》

6月7日(日)に開催された鶴川2丁目団地自治会まつりでは、本校の生徒12名(1年生8名 2年生4名)がボランティアとして活動に参加し地域に貢献し、地域のみなさまからは「中学生のおかげでまつりが活気づいた」等のお褒めの言葉をいただきました。

